

JFEシビル

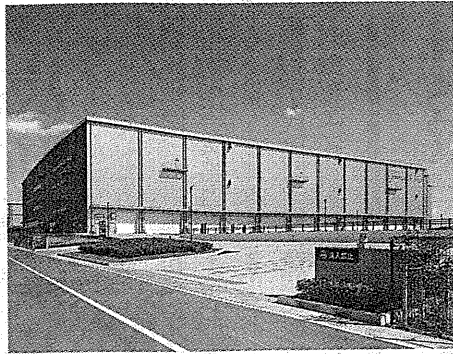
大型物流施設の受注拡大

埼玉で「GLP吉見」竣工 6万平方メートル超

JFEシビル(社長・藤井善英氏)が福田組とのJVで建設を進めていた大型BTS型物流施設「GLP吉見」(埼玉県吉見町)がこのほど竣工した。世界有数の物流施設プロバイダー、グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(GLP)から受注した施設で延床面積は6万2千平方メートル超。同社がGLPから受注した大型マルチテナント型物流施設「GLP綾瀬」(神奈川県綾瀬市)に続く6万平方メートル超の大型案件となる。同社では今後も大型物流施設の受注拡大に注力していく方針。

「GLP吉見」は大手を2階に配置するとともに緊急時の避難動線にも配慮した計画となっている。同社JVが優位性を生かした鉄骨構造を採用するなど高い耐震性能を確保。また、BCP対策として浸水に配慮し受電設備の特命案件が増加し成約率が高まっているという。今期の建築事業の売上高は250億円を見込んでおり、大型物流施設はその中核となっている。今後は冷蔵倉庫や

「GLP吉見」は大手を2階に配置するとともに緊急時の避難動線にも配慮した計画となっている。同社JVが優位性を生かした鉄骨構造を採用するなど高い耐震性能を確保。また、BCP対策として浸水に配慮し受電設備の特命案件が増加し成約率が高まっているという。今期の建築事業の売上高は250億円を見込んでおり、大型物流施設はその中核となっている。今後は冷蔵倉庫や



完成した「GLP吉見」

今後は冷蔵倉庫や